

豊田地域

医療センター

だより

2021
VOL. 80



日本医療機能評価機構
認定施設



日本医療機能評価機構
認定施設



日本医療機能評価機構
認定施設



1P・表紙

2P・3P・健診センターがリニューアルオープン!

「健診センター」

4P・この度、新棟オープンに合わせてMRI装置を更新しました

・従来に比べ最大80%被ばく低減が可能な最新CT

「診療放射線科」

5P・新院長 就任ご挨拶

・厚生労働省のアイデア公募で優秀賞を受賞しました
「総合診療科」

6P・ポータブルエコー

「在宅医療支援センター」

・新装した手術室より

「手術室」

・新型コロナウイルスワクチン接種予約について

「医事課」



健診センターがリニューアルオープン!

健康診断は生活習慣病をはじめ、さまざまな病気の早期発見につながります。今まで健康診断を受診したことが無い方も、この機会にぜひご利用ください。

1F

4 問診・面談エリア

問診室・面談室は、一人一人丁寧な問診および面談を可能にするために、プライベートエリアをより一層確保した部屋となっています。面談室は、当日面接室、後日面接室として使用します。

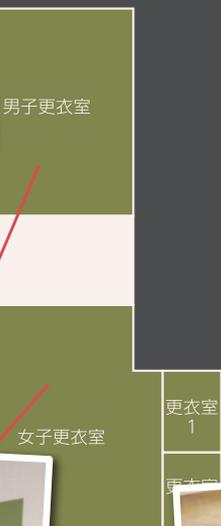


3 採尿室

トランスジェンダーおよびハンディキャップをお持ちの方でも安心して採尿して頂けるようハンディキャップトイレを増設しています。

2 更衣室

トランスジェンダーおよびハンディキャップがある方でも安心して受診して頂けるようハンディキャップ更衣室を増設しています。



健診受付
Medical Checkup Reception

会計・終了確認
Casier · Final confirmation

予約カウンター
Reservation Counter

1 受付・待合・会計エリア

受付では、新規に導入した発券機の利用により、受診者さまが予約時間ごと来院順に受け付けることができ、受付にお並び頂く必要がなくなります。待合では、6/21より実施する受診者160人体制に対応可能なゆったりとした待合にしました。また昨今の社会状況を考慮し、感染対策を施した椅子を採用し安心安全な健診を受診していただくことができます。会計では、待ち時間解消と感染症対策として自動精算機を設置しました。



7 レストラン

人間ドック食が変わります。6/21(月)より、市内の地産地食応援店であるレストラン「ほがらかふえ」さんが健診棟1階に新しくオープンします。来院者の皆さんもモーニングやランチでご利用いただけます。



保健指導室2

保健指導室3

レストラン
Restaurant

売店
Shop

健診棟入口

豊田地域医療センターは、昭和55年に市内の総合的医療施設としてオープンし、長年救急医療・健診および看護師養成などの役割を担ってきました。現在では、急速な高齢化に伴う疾病構造の変化などに対応するため、平成30年からの再整備計画を経て、令和2年12月に診療棟がリニューアルオープンしました。今回新たに、令和3年6月7日に健診棟がリニューアルオープンします。健診センターでは、病院理念を基本とした地域のみなさまが健康で生きがいのある生活を過ごせるような支援の一助になれば幸いと考えています。今回のリニューアルオープンでは、より信頼される健康診断を実施するために、各種の精度の高い検査や、受診者さまに快適で安心・安全な検査を提供できるように心がけています。

B1



5 婦人科専用エリア

女性の方が安心して受診していただけるように婦人科エリアを独立し広いスペースを確保しました。また、女性受診者の要望に対応するために、婦人科診察室、乳房超音波室、乳房X線室をそれぞれ1室増設しました。プライバシーの観点から1室を広く取り隣室に話が漏れないように配慮しています。



6 静養室

安心・安全の観点から、健康診断受診中に気分がすぐれなくなった方、採血でめまいをおこした方などが静養できるように静養室を2室設置しました。

この度、新棟オープンに合わせてMRI装置を更新しました。

いままでのMRI検査は…

「部屋が暗くて怖い」「トンネルの中が狭く感じ、検査時間が長くて苦痛」というネガティブなイメージを持った方も多いのではないのでしょうか

今回新たに導入するsiemens社MAGNETOM Alteaは従来に比べて部屋は明るく、トンネル内が広いため開放感があります。また、体動補正技術と時短撮像法を取り入れることにより、長時間を静止しているのが難しいお年寄りの方や狭いところが苦手な方にもやさしい検査を行うことができます。

また、最新の撮像技術も対応しておりますので、患者さまにとってより良い医療を提供いたします。



従来に比べ最大80%被ばく低減が可能な最新CT

最新AI技術であるDeep Learning(ディープラーニング)技術により、従来のCTに比べ最大80%の被ばく低減が可能となりました。

その為、当院の『肺がんCT検診』での被ばくは、通常診療(ガイドライン比)の約7%、日本CT検診学会推奨値の36%の被ばく量で検査が可能です。

320列面検出器採用により、ひとつの臓器を最短0.275秒で撮影可能となります。

その為、撮影時間は従来のCTより最大10倍以上早くなりました。

最新AI技術を応用したスペクトラルスキャンシステムが搭載されており、従来のCTでは見つける事の出来なかった胆石や腫瘍、骨折などを描出する事が出来、より鮮明な画像を提供する事が出来るようになりました。



※従来CTとは、当院で以前使用していた64列CTを指します。
※ガイドライン:診断参考レベル2020年度版(Japan DRL2020)

院長挨拶

2021年6月10日より、豊田地域医療センター院長に拝命されました堀口高彦と申します。私は1980年に藤田医科大学を卒業し、母校の呼吸器内科学教室で呼吸器・アレルギー病学を中心に研鑽して参りました。2010～2022年3月まで藤田医科大学 呼吸器内科学II講座 教授を拝命し、診療・研究・教育に力を注いできました。

この度、縁をいただき豊田地域医療センターに赴任いたしました。当センターは、豊田市の皆さま、豊田加茂医師会の先生方と常に連携をはかり歩んでまいりました。その経験を活かし、豊田市の皆様に提供する所存です。

小生は、40年余にわたり呼吸器・アレルギー病学を幅広く学んできました。気管支喘息をはじめとするアレルギー疾患、喫煙関連疾患であるCOPD、肺癌、間質性肺炎、肺感染症などの診断率向上、予防、治療の向上に力を注いでいます。

特に気管支喘息においてはガイドライン専門部会委員、作成委員として治療方針の決定に携わっています。我々が開発した吸入方法「ホー吸入」は、国内はもちろん国外からも高く評価され、世界のスタンダードな吸入方法となりつつあります。重症喘息/難治性喘息では、「診断と治療の手引き2019」作成委員会副院長として吸入指導でも改善しない重症例には、生物学的製剤を用いた最先端の治療も行っています。

近年、著しい高齢化社会を迎え、呼吸器疾患においても様々な問題点がみうけられます。当センター総合診療科、リハビリテーション科と連携を密にし、ご高齢の患者さまでも安心して生活を送れるように尽力していきます。

豊田地域医療センターの病院理念は、「医療・保健・福祉を通して、地域のみなさまの生命を守り、健康で生きがいのある生活を支援します」を掲げています。「コミュニティ・ホスピタル」として総合診療・地域づくり・人材育成・健康づくり・地域リハビリを最先端の設備を備えて、地域の皆様を支えていきます。2020年12月にオープンした新病棟は、新型コロナウイルス感染症患者への診療対応の拠点のひとつとして地域の医療機能の維持、医療崩壊の阻止に寄与しています。2021年6月には、健診センターおよびレストランが先行オープンし、10月からフルオープンする予定です。西病棟改修工事は、9月末での完成を予定し、在宅医療支援センター、地域医療研修センター、地域リハインベーションセンターおよび院内保育所を配置する予定としています。その経験を豊田市の皆様に提供する所存です。

豊田地域医療センターは、豊田市、豊田加茂医師会、藤田医科大学、トヨタ自動車から連携協定などを通じて援助を頂いています。その責務を果たすべく、益々発展を遂げる豊田市および市民の皆様が安心して生活を送れるように、スタッフ一丸となって尽力いたします。宜しくお願い申し上げます。



院長 | 堀口高彦



資料はこちらから閲覧できます

総合診療科の近藤敬太先生とそのチームがコミュニティドクター&ナースとして、稲武をどこよりも健康で住みやすい町にしていくための方法を稲武の方々と一緒に考えていく取り組み、「稲武おせんじょさん*プロジェクト」を発足し、社会福祉協議会や地元医師会員の先生方たちと連携を取り、活動しています。その中で、この活動から生まれたアイデアを厚生労働省が主催する「高齢者の自立支援のためのデータ活用アイデア公募」に応募したところ、優秀賞を受賞することができました。これからも地域の方々の健康寿命延伸に向けて取り組んでいきます。

※三河弁で「おせっかいをする人」のこと



ポータブルエコー

在宅医療支援センターに新しい超音波装置が導入されました。本装置はポケットに収まるほどの大きさで、スマートフォンとワイヤレスで接続して検査を行います。医療資源が限定される在宅のような場面では、診察の補助や手技の安全確保などのため重宝しています。近年は医療機器の進歩も目覚ましく、こうした技術と賢く付き合いながら診療の質を担保できるようにしていきたいと思っております。



新装した手術室より

副院長 診療部部长 外科 清水朋宏

2020年(令和2年)12月より、豊田地域医療センター診療棟がオープンし、新たな診療体制がスタートしたことに伴い、手術室も設備が一新されています。本来ならば、豊田市民の皆様には、内覧会等を通して直接ご案内申し上げたかったところですが、ご存知の通りコロナ禍の真っ只中での船出となりましたので、この場を借りて、ほんの触りだけでも、ご案内申し上げます。

現在手術室は、消化器外科、整形外科が中心に可動しており、日帰り手術から鼠径(そけい)ヘルニアや胆石などの良性疾患。胃癌、大腸癌に代表される悪性疾患の治療(手術)を行っています。また、消化器外科領域においては従来からの開腹手術に加え、腹腔鏡手術に対応しています。さらに、外来には、化学療法(抗がん剤)を通院しながら行うための専用ベッドが新設され、悪性腫瘍の術後補助化学療法などが、より安全、安心、快適に行えるような環境が整っています。

これからも、より良い治療のご提案が出来るよう尽くして参りたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



COVID-19

新型コロナウイルス ワクチン接種予約について

豊田市・みよし市からクーポン券(接種券)が届いた方が対象です。
クーポン券(接種券)をお手元にご用意の上、お電話ください。

予約専用ダイヤル >>> (0565) 34-3567

※間違い電話が多発しております。番号をよくお確かめの上、お電話ください。

受付時間:月~金 9時~16時
土 9時~12時(祝日を除く)

専用ダイヤル以外へのお電話や、外来窓口へ直接ご来院での予約は受け付けておりません。
医療体制確保のため、ご理解いただきますようお願いいたします。



編集・発行

豊田地域医療センター

〒471-0062 愛知県豊田市西山町3-30-1
TEL 0565-34-3000(代)
FAX 0565-35-2841
<http://www.toyotachiiki-mc.or.jp/>



病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、地域のみなさまの生命を守り、健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。